

第27回土木史研究発表会

1. 主催：土木学会（担当：土木史研究委員会 <http://www.jsce.or.jp/committee/hsce/index.htm>）

2. 期 日：【研究発表会】2007年7月7日（土）・8日（日）

3. 会 場：近畿大学本部キャンパス（東大阪市）

交通案内：近鉄大阪線長瀬駅より徒歩10分

近畿大学HP http://ccpc01.cc.kindai.ac.jp/honbu/side/09_a/09hon.html

4. 参加費：会員、非会員：2,000円

学生：1,000円

論文集および講演集販売：合冊（論文集Vol.26+講演集Vol.27）：6,000円

論文集のみ：2,000円 講演集のみ：4,500円

※当日会場にて申し受けます。

5. 懇親会： 1) 日 時：2007年7月7日（土）17:45～19:00

2) 会 場：近畿大学内食堂「Cafeteria November」

3) 参加費：4,000円程度を予定。

4) 参加方法：当日会場にてお申し込み下さい。

6. 宿 泊：会場までの交通の便が良いホテルです。ご希望の方は直接ホテルにお申し込みください。

シェラトン都ホテル大阪 〒543-0001 大阪市天王寺区上本町6-1-55 TEL:(06)6773-1111, FAX:(06)6773-3322

<http://www.miyakohotels.ne.jp/osaka/>

公立学校共済組合大阪宿泊所・ホテルアウィーナ大阪 〒543-0031 大阪市天王寺区石ヶ辻町19番12 TEL:(06)6772-1441, FAX:(06)6772-1095

<http://www.awina-osaka.com/>

6. プログラム：

◆7月7日(土)

時間	第1会場(21号館422講義室)	第2会場(21号館423講義室)	第3会場(21号館424講義室)
10:30	開会挨拶 土木史研究委員会委員長 小西 純一		
10:45	【橋梁Ⅰ】 司会:小林 一郎(熊本大学)	【治水】 司会:岡田 一天(㈱プランニングネットワーク)	【港湾・都市】 司会:上島 顯司(国土技術政策総合研究所)
	1 江戸の橋年表 松村博((財)阪神高速道路管理技術センター)	11 野口初太郎技師と大利根用水事業 榊山清人((財)全国建設研修センター)	22 石狩湾新港をめぐる機能分担についてー社会的視点からの考察ー 神代方雅(㈱クマンロシステム設計)
	2 東京市施行隅田川左岸地域震災復興橋梁の橋種・型式選定の考え方 白井芳樹(㈱オオバ)	12 明治期における円山川下流部の治水問題と若年期の沖野忠雄 岩屋隆夫(東京都土木技術センター)	23 1785年のダンケルク港整備計画における土木技師の提案について 根岸美幸(京都大学)
	3 兵庫県の近代化を支えた橋梁 村瀬佐太美((財)海洋架橋・橋梁調査会近畿支部)	13 南山城・木津川支川における天井川の形成過程と治水意識 安東尚美(NPO法人流域調整室)	24 海からみた三角の都市形成に関する一考察 原田茉林(熊本大学)
	4 高度経済成長期に建設された橋梁の系譜とその背景 上田嘉通 (株式会社日建設シビル)	14 富士川水系御勅使川における歴史的砂防施設 小川紀一朗(アジア航測株式会社)	25 都市計画法制定後から終戦時まで(1920年代～1945年)の福岡都市計画に関する研究 ー大福岡市論に着目してー 吉野弘明(九州大学)
12:25			
14:00	【橋梁Ⅱ】 司会:佐々木 葉(早稲田大学)	【上水・衛生】 司会:藤井 三樹夫(㈱水環境研究所)	【都市・景観】 司会:山田 圭二郎(㈱オリエンタルコンサルタンツ)
	5 ドゥ・ラ・ノエによって建設されたブルターニュ地方の鉄道橋梁群に関する研究 本多泰寛(熊本大学)	15 中国・西安の暗渠都市給水施設の現地調査 神吉和夫(神戸大学)	26 昭和初期に竣工した京都市児童公園の空間構造に関する研究 藪内慎太郎(㈱ミサワホーム近畿)
	6 20世紀型チェーン吊橋の実態とその形式選定に関する考察 町田英治(岡山大学)	16 江戸の上水についての補論 藤尾直史(東京大学)	27 後楽園の成立とその戦略 ー<庭>空間としての水田 小野芳朗(岡山大学)
	7 極東アジアの木造屋根構造における「トラス度」の数値的推定 小川直紀(岡山大学)	17 明治期・北陸の用水の合口化 安達實(㈱アステック)	28 忌避施設の再編過程と都市開発に与えた影響に関する一考察 ー岐阜県における各務原競馬場を対象としてー 近藤紀章(滋賀県立大学)
15:40		18 感染症に関係した世界三大土木事業 後藤恵之輔(長崎大学)	29 社会資本を鑑みるⅢ ー用・強・美を再認識してー 吉原不二枝(環境経済研究所)
15:55	【橋梁Ⅲ】 司会:白井芳樹(㈱オオバ)	【電力】 司会:神吉 和夫(神戸大学)	【河川・港湾施設】 司会:島崎 武雄(㈱地域開発研究所)
	8 ロベール・マイヤールの構造デザインと設計思想(その3) ー3ヒンジアーチと補剛アーチの発展に関する一考察ー 鈴木圭(㈱アバンアソシエイツ)	19 電力土木の歴史ー第2編 電力土木人物史(その20-完) 稲松敏夫(稲松技術センター)	30 吉井水門ー現存する日本最古の運河開門 馬場俊介(岡山大学)
	9 我が国における明治期の近代的木造吊橋の展開(その4) ー天竜川の南原橋と木曾川及び天竜川水系の吊橋の変遷の考察ー 山根巖(中部橋梁調査研究所)	20 千歳川における電力開発とその技術に関する研究 今尚之(北海道教育大学)	31 近代港湾建設にみる材料の変遷と石積み利用の可能性について 永村景子(熊本大学)
	10 我が国における明治期の近代的木造吊橋の展開(その5) ー富士川及び安倍川水系での吊橋の変遷ー 山根巖(中部橋梁調査研究所)	21 “発電ダム”からみた「第一次発電水力調査」(明治43～大正2年度)の意義に関する考察 ー3 基の革新ダム(大井・小屋平・塚原ダム)の発電方式の推移に焦点をあててー 堀川洋子(日本大学)	32 「洲崎波除石垣(跡)」考察(第1報) 野村和正(㈱創建東京本社)
17:10			
17:45	懇親会 近畿大学内食堂「Cafeteria November」にて開催. 会費4000円を予定. 当日会場受付にてお申込ください.		
19:00			

◆7月8日(日)

時間	第1会場(21号館422講義室)	第2会場(21号館423講義室)	
10:00	【石垣・構造】 関 文夫(大成建設株式会社)	【土木史一般】 司会:松浦 茂樹(東洋大学)	
	33 個別要素法による城郭石垣の安定性解析 笠博義(榊間組)	42 定法書の研究 —系統的分類について— 篠田哲昭(北海道環境福祉専門学校)	
	34 城郭石垣の盛土構造と動的安定性 西形達明(関西大学)	43 創立期の五高・熊本高等工業学校における技術者教育に関する研究 田中尚人(熊本大学)	
11:15	35 城郭石垣の修復における断面形状の適用に関する考察 森本浩行(京都市立伏見工業高等学校)	44 四国に伝わる災害の教訓に関する考察 山田基(財)日本システム開発研究所)	
11:30	【遺産Ⅰ】 司会:伊東 孝(日本大学)	【鉄道】 司会:北河大次郎(文化庁)	
	36 品川台場にもみる西洋築城技術の影響 浅川道夫(拓殖大学)	45 明治以降の土木および鉄道に関する省庁の変遷と財政史 畑岡寛(九州共立大学)	
	37 近代日本における西洋からの移植技術の伝播に関する史的考察 —旧富岡製糸場が果たした役割の明確化— 西尾敏和(前橋工科大学)	46 京張鉄路におけるトンネルの沿革と現状 小野田滋(鉄道総合技術研究所)	
12:45	38 近世以前の日本の土木遺産の総合調査(第一報) 劉瑜(岡山大学)	47 国鉄改革における建設部門地方機関の承継に関する実証的研究 高津俊司(独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構)	
14:30	【遺産Ⅱ】 司会:原口 征人(社)北海道開発技術センター)	【都市・交通】 司会:昌子 住江(関東学院大学)	
		48 「宋本 清明上河図」における土木景観の分析 横松宗治((株)日本グランドデザイン)	
	39 土木遺産の活用方法に関する基礎的研究 —とちぎの土木遺産を対象として— 稲村晋佑(足利工業大学)	49 鉄道側から見た関東大震災復興事業に関する研究 大沢昌玄(日本大学)	
	40 神奈川お台場の保全へ向けての基礎的研究 鈴木伸治(横浜市立大学)	50 明治時代における長野県の道路行政について(その2) 山浦直人(長野県土木部)	
16:10	41 兵庫県における近代化遺産としての歴史的砂防施設 小川紀一朗(アジア航測株式会社)	51 利根川における舟運と地域社会との関連性 古屋秀樹(東洋大学)	
16:15	総括および閉会挨拶 土木史研究編集小委員会委員長 松村 博		